

青少年健全育成県民運動発足40周年記念

青少年健全育成茨城県推進大会

子育て中の親、青少年育成関係者等1600名が参加

明日の茨城を創造する青少年が社会の一員としての責任と役割を自覚し、心身共に健やかにしてたくましく成長することを目指し、昭和42年に発足した青少年健全育成県民運動が本年度は40周年の意義深い年を迎えました。

このため、本年度の大会は、子育て中の親や青少年育成関係者等が一堂に会し、青少年健全育成に向けての想いを新たにするとともに家庭における親のあり方や地域社会における大人のあり方、家庭、学校、地域社会相互の連携の仕方などについて考え、青少年健全育成活動のさらなる発展を期することとしました。

《大会概要》

- 主催 茨城県
社団法人 青少年育成茨城県民会議
青少年育成市町村民会議
- 日時 平成20年2月7日(木)10:00~15:40
- 場所 県民文化センター大ホール
- 参加者 青少年育成関係者 P T A ・学校 幼稚園
保育所関係者 青少年地域活動団体 県・
市町村関係者 一般県民等
- 内容 ○青少年団体等顕彰・青少年健全育成功労
者表彰
○中学生の主張発表
○大丈夫？今の親と大人
・実践活動発表
・演劇発表
○記念講演
○大会宣言



所 功雄 青少年育成茨城県民会議会長あいさつ

記念講演

「心豊かな子どもを育てる親・家庭の役割」

社団法人 青少年育成国民会議
会長 西原 春夫氏

現代の青少年問題と親のあり方について実例をあげて話され、乳幼児期に親から守られているという安心感を育むことが基盤になることなど、子どもの年齢に応じた接し方を解説されました。

小学校低学年からの「型」による教育に触れ、「あいさつや食事のマナーなど、日常生活の型に理屈はない。今の時代は、一生を支配するような「型」による教育の再構築が必要である。」など、礼儀や作法の重要性を指摘され、親のあり方、家庭の役割について考えることができました。



中学生の主張発表

平成19年度少年の主張茨城県大会では、18,278名（116校）の中学生の中から選ばれた10名の中学生が発表しました。

この大会では、その中から県知事賞、県議会議長賞、県教育委員会教育長賞を受賞した3人の中学生が発表しました。

発表では、家庭やマナーについての主張があり、親や大人のあり方について考えることができました。

茨城県知事賞「支え合って生きる」

廣瀬 誉 筑西市立下館南中学校3年

茨城県議会議長賞「本当の「マナー」とは？」

武藤 里美 日立市立大久保中学校3年

茨城県教育委員会教育長賞「一人ひとりが創る社会」

淵上 朋子 牛久市立牛久第一中学校3年



発表された中学生の皆さん

主張発表文は、ホームページでご覧になれます。